



第11回 中部歴史まちづくりサミットin岡崎

平成24年より始まった“中部歴まちサミット”は、今回で11回目となり、徳川家康公の生誕地である岡崎市にて開催。一般参加者、行政関係者合わせて約197人が参加した。



中部歴史まちづくりサミットin岡崎

共催 国土交通省中部地方整備局・岡崎市



開会挨拶



内田 康宏
岡崎市長



森本 輝
中部地方整備局長

基調講演



瀬口 哲夫
名古屋市立大学
名誉教授

「東海道の歴史的風致」

歴史的な資産というと宿場町や城が目されがちだが、人々が交流してきた何気ない街路空間に文化的な空気が潜んでいることと、それを踏まえてまちを見ることで、歴史都市の交流のきっかけとなる新しい発見ができることが示唆された。



参加した歴まち18都市の首長等



田中 明
高山市長



櫻井 義之
亀山市長



原 欣伸
犬山市長



小坂 喬峰
恵那市長



篠田 啓介
美濃市長



下村 由美子
明和町長



柴橋 正直
岐阜市長



置田 優一
郡上市副市長



松尾 俊憲
名古屋市副市長



稲森 稔尚
伊賀市長



内田 康宏
岡崎市長



豊岡 武士
三島市長



久保田 崇
掛川市長



山下 正行
伊豆の国市長



高野 茂章
下田市副市長



加藤 隆志
津島市副市長



内藤 伸二郎
浜松市副市長



近藤 芳英
西尾市副市長

パネルディスカッション

「街道とまちづくり」をテーマとして、東海道や中山道といった歴史的な街道を有する岡崎市、恵那市、三島市、津島市の首長等による、街道をとりまく取組の事例発表と意見交換を実施。

街道は、開発のあり方に特徴があり、古来からの歴史的風致がそのまま残っているところが多く、それらは個性的な固有の文化として価値があるもの。この維持に努めることは当然のことながら、同時に観光資源として活用することによる交流と活性化が、文化を世代間で継承していくために必要なことであると再認識した。



わがまちワンポイント自慢

各歴まち都市の首長等がプレゼンターとなり、わがまちの魅力の中から「これは！」といういいこと・いいものを厳選して紹介。

歴史的な建造物の活用や、お祭りや伝統の継承等の人々の営み、それらを包含した文化的な景観など、中部地区に残る様々な宝物を、力強く“自慢”していただいた。

